

I 第7週の発生動向 (2014/2/10~2/16)

1. インフルエンザについては、患者報告数が前週の2,014人から2,280人に増加し、東地方+青森市、五所川原保健所管内では**警報**が発令されました。八戸、上十三保健所管内では第4週から**警報**が、むつ保健所管内では第4週から、弘前保健所管内では第6週から**注意報**が継続しています。

(詳細については、V県内インフルエンザ情報をご覧ください)

2. 感染性胃腸炎については、東地方+青森市保健所管内の警報が解除されました。

II 第7週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
(85) インフルエンザ	443	34.1	283	18.9	570	40.7	222	31.7	593	65.9	169	28.2	2,280	35.6	266	6	6.0	437	36.4
(74) RSウイルス感染症			3	0.3					1	0.2			4	0.1	0				
(75) 咽頭結膜熱	7	0.9	1	0.1							3	0.8	11	0.3	3			7	0.9
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.5	14	1.6	15	1.7	1	0.2	14	2.3	7	1.8	55	1.3	-15			4	0.5
(77) 感染性胃腸炎	74	9.3	25	2.8	21	2.3	6	1.2	14	2.3	42	10.5	182	4.4	-184			74	9.3
(78) 水痘	14	1.8	7	0.8	20	2.2			10	1.7	8	2.0	59	1.4	0			14	1.8
(79) 手足口病					1	0.1							1	0.0	1				
(80) 伝染性紅斑	1	0.1	4	0.4			4	0.8	1	0.2			10	0.2	5			1	0.1
(81) 突発性発しん	2	0.3	2	0.2	1	0.1	1	0.2	4	0.7	1	0.3	11	0.3	0			2	0.3
(82) 百日咳															0				
(83) ヘルパンギーナ															0				
(84) 流行性耳下腺炎	4	0.5	2	0.2	1	0.1					2	0.5	9	0.2	-2			4	0.5
(86) 急性出血性結膜炎															-1				
(87) 流行性角結膜炎	4	2.0			5	2.5	1	1.0					10	0.9	0			4	2.0
(92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎					1	1.0					2	2.0	3	0.5	2				
(96) 無菌性髄膜炎															0				
(101) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)											2	2.0	2	0.3	2				

は警報 は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

(10) 結核(二類全数把握疾患)：五所川原1人、上十三1人、むつ1人(2014年計:31人)

(65) 急性脳炎(五類全数把握疾患)：五所川原1人(2014年計:4人)

IV 病原体検出情報()内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

・インフルエンザ患者(咽頭ぬぐい液、鼻汁、H26.1/28~2/5)・・・インフルエンザA H1亜型：弘前(1)、八戸(1)、インフルエンザA H3亜型：弘前(1)、インフルエンザB型：弘前(1)、八戸(1)

感染症の窓

感染性胃腸炎(ロタウイルス) (五類定点把握疾患)

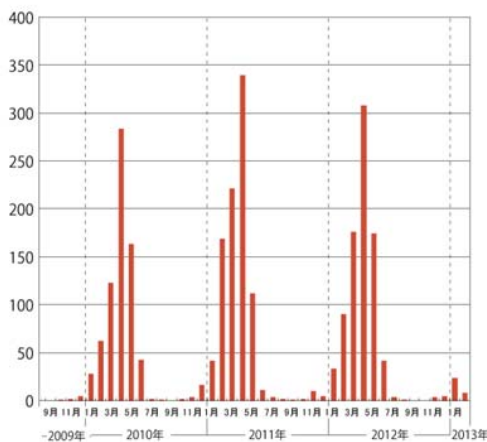


図 ロタウイルスを原因とする胃腸炎の流行曲線

感染性胃腸炎の流行は、年末年始にピークを示し秋口にかけて減少します。このうちロタウイルスを原因とする患者は、年末から増え始めて春先にピークが認められます(図)。

ロタウイルスは、感染力が非常に強く、生後6カ月~5歳までに、ほぼ全員が初感染し、その後も繰り返し感染しますが、重症化に対する防御効果がみられ軽症化します。

主症状は、下痢、嘔気、嘔吐、発熱、腹痛で、通常1~2週間で治癒しますが、脱水症などを併し重症化する場合があります。

感染経路は、患者の便を感染源とする糞口感染です。初感染予防のためには、任意接種のワクチンがあります。感染拡大を防ぐためには、手洗いの徹底、オムツ・汚染衣類等の適切な処理、次亜塩素酸ナトリウム(家庭用塩素系漂白剤)による消毒が重要です。(参考:「ロタウイルス感染性胃腸炎とは」国立感染症研)

厚労省のホームページでは、「ロタウイルスに関するQ&A」を掲載し、注意を呼びかけています。

(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansensho/u19/Rotavirus/index.html>)

V 県内インフルエンザ情報

第7週の患者報告数は、2,280人で、迅速診断キットによる型別はA型716人、B型1,484人、不明80人でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数

(人)

週	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7
保健所名											
東地方					2	2	4	4	8	13	6
弘前	1	1	2	6	6	4	12	84	147	172	283
八戸	2	1	19	39	35	95	236	740	877	697	570
五所川原				1	3	4	15	60	65	87	222
上十三	1		7	8	17	39	97	312	627	701	593
むつ			1			13	26	89	108	75	169
青森市		12	21	12	14	16	22	84	130	269	437
合計	4	14	50	66	77	173	412	1373	1962	2014	2280

A型（迅速診断キットによる型別です）

週	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7
保健所名											
東地方					1	2	4	4	3	11	3
弘前	1	1		3	3	3	11	54	116	118	164
八戸			9	15	16	50	92	258	262	212	162
五所川原				1			10	33	34	33	48
上十三			6	2	8	20	46	100	112	126	105
むつ			1			11	24	71	79	40	71
青森市		12	20	10	12	12	19	66	98	204	163
合計	1	13	36	31	40	98	206	586	704	744	716

B型（迅速診断キットによる型別です）

週	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7
保健所名											
東地方					1				5	2	3
弘前			2	3	3	1	1	25	31	54	117
八戸	2	1	8	23	18	44	142	447	566	451	387
五所川原					3	4	4	26	31	52	172
上十三	1		1	6	9	17	50	202	489	550	453
むつ						2	2	18	29	35	98
青森市			1		2	3	3	8	26	59	254
合計	3	1	12	32	36	71	202	726	1177	1203	1484

年齢区分別

週	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7
～5ヶ月							1	2	3	10	6
～11ヶ月			1		3	4	4	18	15	21	26
1歳			3	1	2	14	21	45	62	54	82
2歳			4	1	2	7	19	50	70	78	90
3歳		1	4		2	8	14	53	71	95	121
4歳		2	5	3	2	11	23	59	108	142	139
5歳		6	6	6	5	8	35	70	91	138	165
6歳		1	3	4	4	9	23	73	114	133	164
7歳			1	3		4	21	98	120	157	197
8歳			2	2		7	13	98	139	151	144
9歳		1	2	7	2	3	16	79	135	124	158
10～14歳			6	20	10	11	71	354	515	415	415
15～19歳	3	1	1	1	1	12	21	92	84	82	62
20～29歳	1		3	4	14	12	14	36	56	42	59
30～39歳			3	5	7	9	36	88	108	114	148
40～49歳			4	6	4	11	33	46	106	106	107
50～59歳		2	1	1	4	14	21	43	71	52	88
60～69歳			1	1	5	13	9	31	45	56	57
70～79歳				1	7	7	11	21	32	30	28
80歳以上					3	9	6	17	17	14	24

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況

2013年第43週～2014年第7週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
43	H25.10.21 ~ H25.10.27		つつが虫病1人				
44	H25.10.28 ~ H25.11.3		腸管出血性大腸菌感染症1人	梅毒1人			
45	H25.11.4 ~ H25.11.10					つつが虫病2人	
46	H25.11.11 ~ H25.11.17			腸管出血性大腸菌感染症1人 急性脳炎1人			
47	H25.11.18 ~ H25.11.24		クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
48	H25.11.25 ~ H25.12.1	つつが虫病1人	急性脳炎1人				
49	H25.12.2 ~ H25.12.8						
50	H25.12.9 ~ H25.12.15			アメーバ赤痢1人	レジオネラ症1人		
51	H25.12.16 ~ H25.12.22						
52	H25.12.23 ~ H25.12.29						
1	H25.12.30 ~ H26.1.5						
2	H26.1.6 ~ H26.1.12	侵襲性肺炎球菌感染症1人					
3	H26.1.13 ~ H26.1.19		アメーバ赤痢1人	レジオネラ症1人			
4	H26.1.20 ~ H26.1.26		急性脳炎1人	急性脳炎1人	急性脳炎1人		
5	H26.1.27 ~ H26.2.2						
6	H26.2.3 ~ H26.2.9						
7	H26.2.10 ~ H26.2.16				急性脳炎1人		

VII 結核(二類全数把握疾患)

2013年第51週～2014年第7週

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
51	H25.12.16 ~ H25.12.22	3	2	1			
52	H25.12.23 ~ H25.12.29	3	2	2	1	1	
1	H25.12.30 ~ H26.1.5						
2	H26.1.6 ~ H26.1.12	1	1	2			1
3	H26.1.13 ~ H26.1.19	1		3	1	1	
4	H26.1.20 ~ H26.1.26	1		2			
5	H26.1.27 ~ H26.2.2	3	1	1		1	
6	H26.2.3 ~ H26.2.9	2	4	1		1	
7	H26.2.10 ~ H26.2.16				1	1	1

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	オウム病	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	デング熱	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	副症空腸出血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症
累積報告数	1594	7	36	5	1	9	13	1	1	17	8	6	94	2	71	20	51	2	8	26	93	2

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	侵襲性インフルエンザ感染症	侵襲性髄膜炎	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	パンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん
累積報告数	24	3	178	5	98	7	4	41	62

青森県

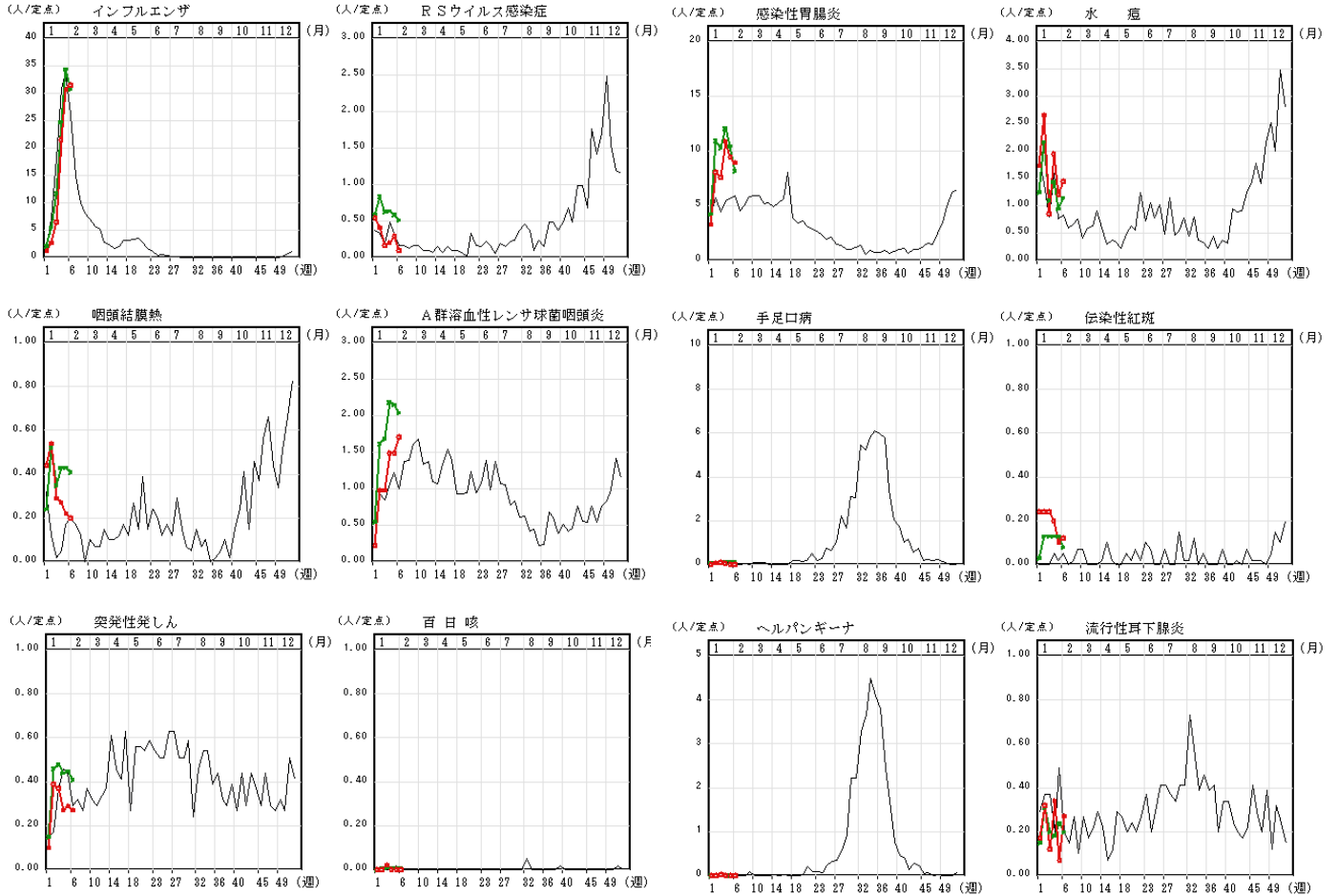
(2014年第1週～2月17日16:30累計)

分類	二類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	侵襲性肺炎球菌感染症
累積報告数	31	1	1	4	1

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

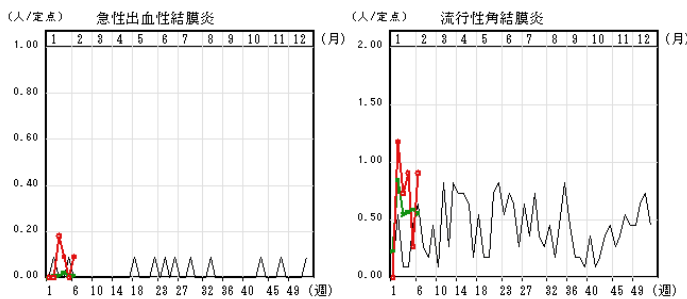
2014年第6週

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、—は2013年青森県、×—×は2014年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移

2014年第6週



XI 基幹定点把握疾患週別推移

2014年第6週

